

## MySQL 5.1.45 リリースノート（日本語翻訳）

### InnoDB Plugin に関する注意事項:

- 今回のリリースには InnoDB Plugin 1.0.6 が含まれている。本バージョンは、Release Candidate (RC) の品質であるとみなされている。

今回のリリースでは、InnoDB Plugin は、RHEL3、RHEL4、SuSE 9 (x86、x86\_64、ia64)、および Linux RPM 汎用パッケージを除き、ソースおよびバイナリディストリビューションに含まれている。また、FreeBSD 6 と HP-UX、および ia64 全般の Linux では動作しない。

### 機能の追加と変更:

- **mysqltest** は、デフォルトの 128 よりも多くの最大許容サーバ接続数を設定する、新しい `--max-connections` オプションを備えている。このオプションは、**mysql-test-run.pl** を介して渡すこともできる ([Bug#51135](#))。
- **mysql-test-run.pl** は、既存の `--build-thread` オプションの代替として、ポート範囲を設定するための新しい `--portbase` オプションとそれに対応する `MTR_PORT_BASE` 環境変数を備えている ([Bug#50182](#))。
- **mysql-test-run.pl** は、現在サポートされている `--gcov` オプションが **gcov** を通じてサーバを実行する場合とほぼ同様に、**gprof** プロファイラを通じてサーバを実行する新しい `--gprof` オプションを備えている ([Bug#49345](#))。
- **mysqltest** は、次のステートメントの出力を小文字に変換する新しい `lowercase_result` コマンドを備えている。これは、プラットフォーム間で大文字/小文字が異なる可能性があるテストケースの場合に役立つ ([Bug#48863](#))。
- **mysqltest** は、パターンに一致するファイルをディレクトリから削除する新しい `remove_files_wildcard` コマンドを備えている ([Bug#39774](#))。

### 修正されたバグ:

- **パーティショニング**: ある接続から発行されて、パーティションドテーブルによって使用されるストレージエンジンを変更する `ALTER TABLE` の完了を待っている間に、別の接続からそのパーティションドテーブルを削除しようとする、サーバがクラッシュする可能性があった ([Bug#42438](#))。
- **レプリケーション**: マスタのテーブルにインデックスを追加すると、スレーブはスロークエリログへのスロークエリのロギングを停止した ([Bug#50620](#))。

- レプリケーション: マスタのスロークエリログに書き込まれたクエリは、スレーブのスロークエリログに書き込まれなかった ([Bug#23300](#))。

[Bug#48632](#) も参照。

- [mysqld\\_multi](#) は、スクリプトの構文エラーが原因で失敗した ([Bug#51468](#))。
- HAVING 句でサブクエリ結果を参照すると、不正な結果が生成される可能性があった ([Bug#50995](#))。
- 通常は、フルインデックススキャンよりも、[filesort](#) と結合キャッシュを使用する方が好ましい。ただし、インデックスがクラスタ化されている場合でも、[filesort](#) と結合キャッシュが使用されていた。インデックスがクラスタ化されている場合は、クラスタ化インデックススキャンの方が速い可能性がある ([Bug#50843](#))。
- デバッグビルドの場合、バイナリロギングが有効になっていないと、[SHOW BINARY LOGS](#) によって表明が発生した ([Bug#50780](#))。
- ストアードプロシージャでビューが作成または変更された場合、ストアードプロシージャキャッシュが不正になることをサーバは知らず、結果としてクラッシュした ([Bug#50624](#))。
- テンポラリテーブルの [BIT](#) カラムを不正に処理すると、間違った重複キーエラーが生じる可能性があった ([Bug#50591](#))。
- 切り捨て演算子 (\*) を使用した全文クエリは、無限ループに入る可能性があった ([Bug#50351](#))。
- デバッグビルドにおいて、[Order by](#) がマッチする場合、オプティマイザでアサーション不正が発生する ([Bug#50335](#))。
- [GROUP\\_MIN\\_MAX](#) で最適化されているクエリは [KEYREAD](#) 最適化プロパティをクリーンアップせず、サブクエリに正しくない行を返していた ([Bug#49902](#))。
- [LONGTEXT](#) 列を含む動的フォーマットの [MyISAM](#) テーブルで、大量の [Insert ... ON DUPLICATE KEY UPDATE](#) や [REPLACE](#) は破壊を引き起こす可能性があった ([Bug#49268](#))。
- デバッグビルドにおいて、[sql\\_safe\\_updates](#) を [enable](#) にしていると、[Ignore](#) 句を含む複数テーブルの [update](#) はアサーションを発生させる可能性があった ([Bug#49534](#))。
- テーブルがスコープ外の場合、[FROM](#) 句の中のサブクエリのカラム名を出力しようとした場合に [EXPLAIN EXTENDED](#) はクラッシュする ([Bug#49487](#))。
- [mysqltest](#) では、[reap](#) を先に行わない限り、[send](#) コマンドの実行後に接続に対する [SQL](#) ステートメントを実行することはできなくなっている。この処理は、以前は許容されていたが、予期しない結果を生成する可能性があった ([Bug#49269](#))。

- Windows 上のデバッグビルドの場合、デバッグディレクティブの不正な使用に関する警告はエラーログに書き込まれた。これらのメッセージを無くすために、デバッグディレクティブが再書き込みされていた ([Bug#49025](#))。
- Fedora Core 12 (64 ビット版) では、[comp\\_err](#) におけるエラーが原因で MySQL のビルドが失敗した ([Bug#48864](#))。
- データベースディレクトリから ARZ ファイルが無くなると、サーバがクラッシュした ([Bug#48757](#))。
- 別のビューv2 にアクセスする関数が含まれるビューv1 で [SHOW CREATE TABLE](#) を実行した場合、関数内で参照されるビュー (V2) を開いている間に、そのビューによって警告が発生すると、無限ループになる可能性があった ([Bug#48449](#))。
- 不正なメモリ読み込みは、次のクエリに書き込みロックで MyISAM テーブルを複数回参照させる可能性があった ([Bug#48438](#))。
- デバッグビルドで、行コンストラクタを含むビューを作成するとアサーションを発生させる可能性があった ([Bug#48294](#))。
- 複数ステートメントのストアプロシージャの実行時間が正しく評価されなかったため、遅い CALL ステートメントはスロークエリログに記録されないことがあった ([Bug#47905](#))。
- デバッグビルドで、function を実行しているビューの SELECT を kill するとアサーションを発生させる可能性があった ([Bug#47736](#))。
- 存在しない DEFINER を使用したビューのオープン失敗は不正に処理され、後でそのビューをロックしようとするサーバがクラッシュした ([Bug#47734](#))。
- クエリで [EXPLAIN](#) にエラーが生じた場合、メモリリークが発生した ([Bug#45989](#))。
- DISTINCT 集計関数を使用してクエリ内のサブクエリによるグルーピングを行うと、不正な順不同のグルーピング値が生成された ([Bug#45640](#))。
- WHERE 式で大きな符号なし数値定数を伝搬すると、不正な結果になる可能性があった。これは [EXPLAIN EXTENDED](#) にも影響し、[EXPLAIN EXTENDED](#) はそのような変換済み WHERE 式で不正な数値定数を出力していた ([Bug#45360](#))。
- オプティマイザコード内の初期化されていない変数に関する Valgrind 警告が修正された ([Bug#45195](#))。
- `flush_cache_records()` はステートメントの実行を停止させるエラーを正しくチェックしなかったため、サーバがクラッシュした ([Bug#39022](#))。
- InnoDB は繰り返しバッファプールにページをロードしようとしながらディスクにログを出力していた。現在リトライは 100 回に制限され、その後メッセージとともにアボートする ([Bug#38901](#))。

- 異なるターゲットディレクトリの使用中(VPATH 環境変数の使用中など)に MySQL をビルドすると、埋め込み `readline` コンポーネントのビルドに失敗した ([Bug#35250](#))。
- `INSERT INTO ... VALUES(DEFAULT)` は、`ENUM` カラムに対する正しい値の挿入に失敗した。MyISAM テーブルの場合は、空の値が挿入された。CSV テーブルの場合は、テーブルが破損した ([Bug#33717](#))。

※本翻訳は、理解のための便宜的な訳文として、オラクルが著作権等を保有する英語原文を NRI の責任において翻訳したものであり、変更情報の正本は英語文です。また、翻訳に誤訳等があったとしても、オラクルには一切の責任はありません。